

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)結果(平成19年度事業分)

施設名	富士北麓公園					
指定管理者	(財)山梨県体育協会					
指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日					
施設の使命・役割(運営目標)	以下にあげる都市公園としての機能を発揮すること。 ・遊び、憩いの場を提供すること ・防災拠点としての機能を発揮すること ・良好な緑地景観、環境を提供すること ・スポーツの場を提供すること 主催事業の実施を通じて、スポーツに親しむ機会を提供すること					
指定管理者が行う業務	施設・備品の管理運営業務 スポーツ振興業務 施設(緑地を含む)・設備の維持管理業務 県が実施する大会等への協力					
維持管理業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	概ね、業務計画通りの管理が出来た。 施設の老朽化に伴い劣化及び不具合箇所の早期発見に努め、環境の整ったスポーツ施設として維持していくために、施設の保守・点検管理や植栽管理等を計画的に実施したことにより、利用者へ安全で快適な環境を提供できたと考えられる。	全体的に、適切な維持管理が行われている。 施設の供用開始から20年以上が経過しており、各所が老朽化しているため、不具合箇所の早期の発見及び修繕に努め、適切な維持管理を行うこと。				
運営業務の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	多くの方々に親しまれる憩いの場として、また郡内地域で最も充実したスポーツ施設としての機能が活用できるよう努力した。 経年劣化等に伴う施設・設備等の不具合については、修繕等を迅速に対応し安全性と利便性を損なわないように日頃から点検確認等に留意した。 富士山がバックに見える景観豊かな野球場等屋外施設は、利用計画に基づき適切な運営管理業務を行ったことで、高評価をいただいた。 引き続き多くの方々に親しまれる公園を目指し諸事業に取り組んでいきたい。	適切な運営が行われていると評価できる。 施設利用の促進に向けて、積極的な広報活動が行われるとともに、教室・イベントが開催された。 今後も積極的な広報活動・イベント等の開催を行うこと。 また、ボランティアの活用を行っていくこと。				
自主事業の評価	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価・指導内容				
	事業計画書どおりの事業を実施した。 自動販売機の設置により飲料の提供を実施するなど、来園者のサービス向上に努めた。 スポーツ教室やスポーツクラブとの連携事業の実施により、県民の皆様にもスポーツへの参加の機会を提供できたものとする。	スポーツ振興に関する事業や販売・貸出業務だけでなく、公園を利用した興行の企画・実施を行うこと。				
利用者満足度調査	調査結果	利用者の声				
	満足度 総合満足度 満足84% 普通16% 不満0% 満足度評価値=100% 良好な緑地景観、環境を提供すること 82% 遊び、憩いの場を提供すること 63% 主催事業を通じて、スポーツに親しむ機会を提供すること 95% サービスの提供(広報、利用、接客、案内等) 91% サービスの提供(有料公園施設等の運営) 93% イベント 91% 教室 99%	いつも清掃が行き渡っていて、気持ち良かった。 よく整備されている。 きれいになっている。 寒い。 薄暮利用が出来て良かった。 会議室が低価格で良かった。 エアロビ・テニス教室を通年で行ってほしい。 等				
利用者満足度調査	評価	施設所管課の評価・指導内容				
	指定管理者の自己評価 84%の方から満足との評価をいただいた。今後もこの評価を向上させるよう各項目において最大限の取り組みを行っていく。 個別要望の内、施設改善については、県との協議のなかで進めていきたい。	満足度評価値は非常に高く、全体的に良好と評価できる。利用者のニーズを十分に把握した上で利用者からの要望の実現に向けて努力すること。				
利用実績	利用者数	H18年度実績(人)	H19年度計画(人)	H19年度実績(人)	H20年度目標(人)	
	公園利用者数	225,020	220,000	225,700	221,000	
	有料施設利用者数(観客数を含む)	117,105	118,000	123,462	121,000	
		(-)	(146,000)	(151,282)	(148,000)	
利用実績	評価	施設所管課の評価・指導内容				
	日頃からの公園美化活動や広報活動の結果、県内外からの学校遠足での来園及び園内散策者が増加傾向にある。また、ファミリースポーツフェスティバル・ヤングスポーツフットサル大会の参加者が若干ではあるが増加した。なお、平成20年度V F甲府のJ2降格によりサテライトの試合予定が無いため平成19年度に比べ利用者数の減少が見込まれる。	公園利用者数は前年度に比べ、増加がわずかであるが、有料施設の利用者数は大きく増加しており評価できる。 公園を利用した興行の企画・実施を行うことにより、引き続き利用者の増加に努めること。				
収支の状況	科目	H19年度計画額(円)	H19年度実績額(円)	差額(計画額-実績額)(円)	H21年度計画額(円)	
	収入	利用料金収入	9,646,000	11,021,000	-1,375,000	10,018,000
		指定管理料	76,949,000	76,949,000	0	78,188,000
		その他収入	99,000	16,000	83,000	99,000
	計	86,694,000	87,986,000	-1,292,000	88,305,000	
支出	86,694,000	86,966,000	-272,000	88,305,000		
差し引き(収入-支出)	0	1,020,000		0		
収支の状況	評価	施設所管課の評価				
	指定管理者の自己評価 収入は、無休営業、時間延長並びに親切丁寧な接客に取り組んだ結果、事業計画を上回る収入を得ることが出来た。 支出については、人件費の削減や管理業務の複数年契約等により、適正な管理を実施する中で経費の削減に努めた。	指定管理者の広報等の努力により、有料公園施設の利用料金収入が増加しており、評価できる。 施設を更に有効活用し有料公園施設の利用料金収入を増加させるとともに、経費の削減に努めること。				
施設の運営目標の達成状況	事業計画書に則り管理、事業を実施した。昨年度に引き続き利用時間の延長及び無休営業の実施等を行うことにより、利用収入及び利用人数の増加に繋がった。これは、利用者ニーズに合った施設管理が評価されたものとする。また、環境の整ったスポーツ施設として、施設の保守・点検管理や植栽管理等、運営管理全般を計画書のとおり実施したことにより、利用者へ安全で快適なスポーツの場を提供できたものとする。スポーツ振興事業においては各スポーツ教室やイベントの開催によりスポーツへの関心を高めるとともに参加の機会を提供できたものとする。防災面に関しては、富士北麓公園震災時対応マニュアルを作成し、災害時の対応について職員研修・訓練を実施し、職場全体で防災意識の向上に努めた。					
総合的な評価及び改善事項	園内は、清潔に保たれており、施設の安全管理や災害時の備えが適切に行われていた。 また、条例で定められているスポーツ振興業務、スポーツ講習会開催業務も計画的に行われており、管理運営は効果的・効率的であった。 良好な管理が行われているので、今後も管理・運営の質の向上に努めること。 H20年度で指定管理期間が終了するので、次期管理者に円滑な引継ぎができるよう努めること。					